

終末論序論

Hope Bible School



LES
PROPHETIES
DE M. MICHEL
NOSTRADAMVS.

Dont il en y a trois cens qui
n'ont encores iamais
esté imprimées,

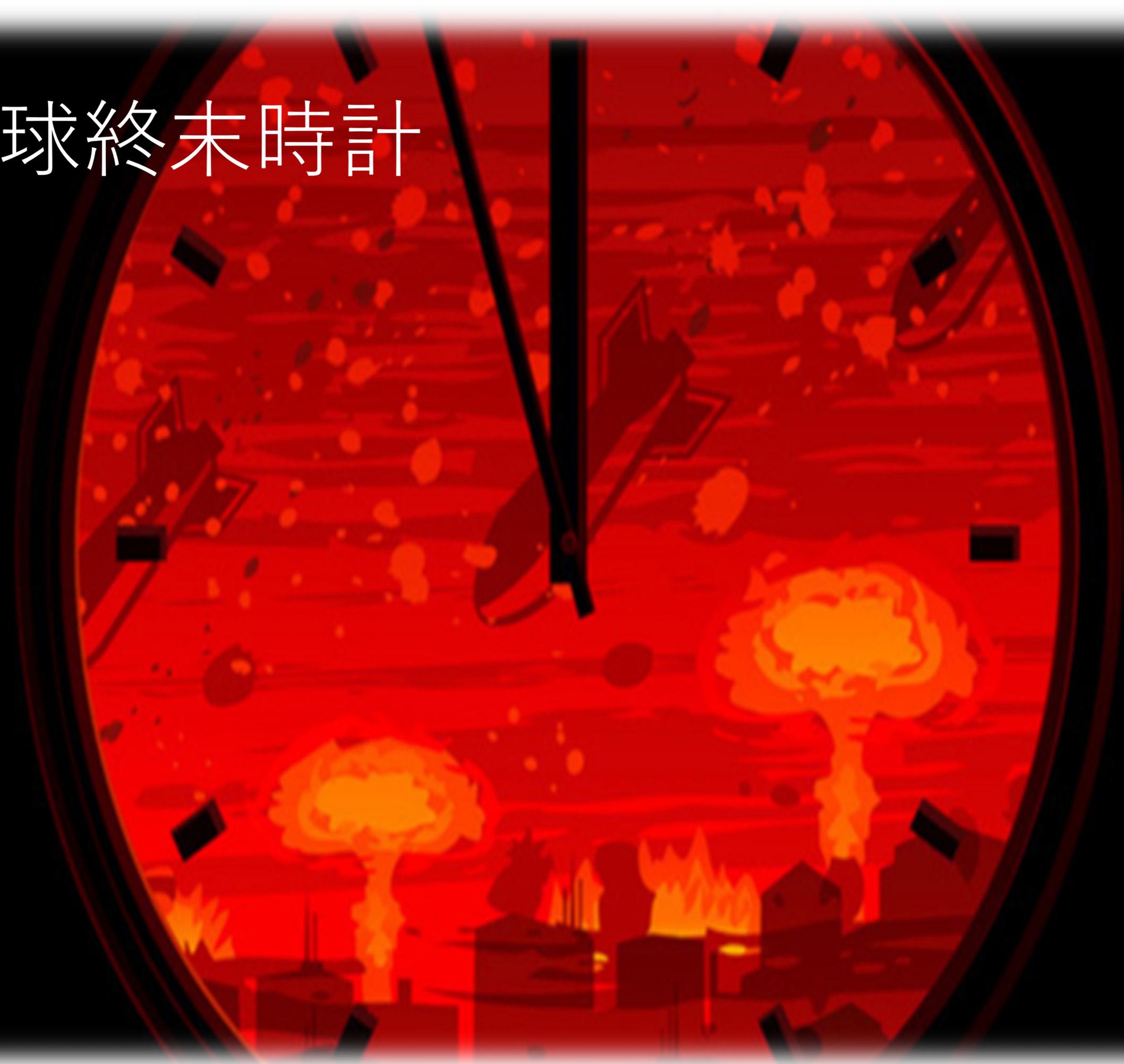


A LYON,
Chez Antoine du Rosne.

1557



地球終末時計



世俗的終末論

世紀末的な地球破滅的な現象

Distopia的観念

人々の基本的な反応：恐怖



基督教終末論

この世の破滅的な終わりではない
神様が墮落した世界を回復
神様の国を完成

基本的な反応：希望・楽観的な姿勢

基督教終末論

聖書を貫通している中心主題の一つ
すべての教団の憲法・教理

信仰生活の絶頂であり完成

基督教終末論

時間（この世）の終りに
起こることに関する
教会の教え

基督教終末論

時間（この世）の終りに
起こることに関する
教会の教え

個人的終末論

個人の死
復活
永生

基督教終末論

時間（この世）の終りに
起こることに関する
教会の教え

個人的終末論

個人の死
復活
永生

歴史的終末論

主の再臨
携拳と復活
最後の裁き
新天新地

基督教終末論

歴史的終末論

主の再臨
携挙と復活
最後の裁き
新天新地

主の再臨はいつなのか？



主の再臨はいつなのか？

終末論の中心論争： 黙示20章の解釈

4・・・彼らは生き返って、キリストとともに、千年の間王となった。

5 そのほかの死者は、千年の終わるまでは、生き返らなかった。これが第一の復活である。

6 この第一の復活にあずかる者は幸いな者、聖なる者である。この人々に対しては、第二の死は、なんの力も持っていない。彼らは神とキリストとの祭司となり、キリストとともに、千年の間王となる。 [黙示20:4-6](#)

主の再臨はいつなのか？

イエス様の再臨と千年王国

4・・・彼らは生き返って、キリストとともに、千年の間王となった。

5 そのほかの死者は、千年の終わるまでは、生き返らなかった。これが第一の復活である。

6 この第一の復活にあずかる者は幸いな者、聖なる者である。この人々に対しては、第二の死は、なんの力も持っていない。彼らは神とキリストとの祭司となり、キリストとともに、千年の間王となる。 黙示20:4-6

主の再臨はいつなのか？

イエス様の再臨と千年王国

4・・・彼らは生き返って、キリストとともに、千年の間王となった。

5 そのほかの死者は、千年の終わるまでは、生き返らなかった。これが第一の復活である。

6 この第一の復活にあずかる者は幸いな者、聖なる者である。この人々に対しては、第二の死は、なんの力も持っていない。彼らは神とキリストとの祭司となり、キリストとともに、千年の間王となる。 黙示20:4-6

1. 前千年説

主の再臨はいつなのか？

イエス様の再臨と千年王国

4・・・彼らは生き返って、キリストとともに、千年の間王となった。

5 そのほかの死者は、千年の終わるまでは、生き返らなかった。これが第一の復活である。

6 この第一の復活にあずかる者は幸いな者、聖なる者である。この人々に対しては、第二の死は、なんの力も持っていない。彼らは神とキリストとの祭司となり、キリストとともに、千年の間王となる。 黙示20:4-6

1. 前千年説

2. 後千年説

主の再臨はいつなのか？

イエス様の再臨と千年王国

4・・・彼らは生き返って、キリストとともに、千年の間王となった。

5 そのほかの死者は、千年の終わるまでは、生き返らなかった。これが第一の復活である。

6 この第一の復活にあずかる者は幸いな者、聖なる者である。この人々に対しては、第二の死は、なんの力も持っていない。彼らは神とキリストとの祭司となり、キリストとともに、千年の間王となる。 黙示20:4-6

1. 前千年説

2. 後千年説

3. 無千年説

終末に対するイエス様の教え

イエス様の関心事：神の国

神の国が来た。悔改めなさい。
先ずその国と義を求めなさい。
神の国に対する教え。

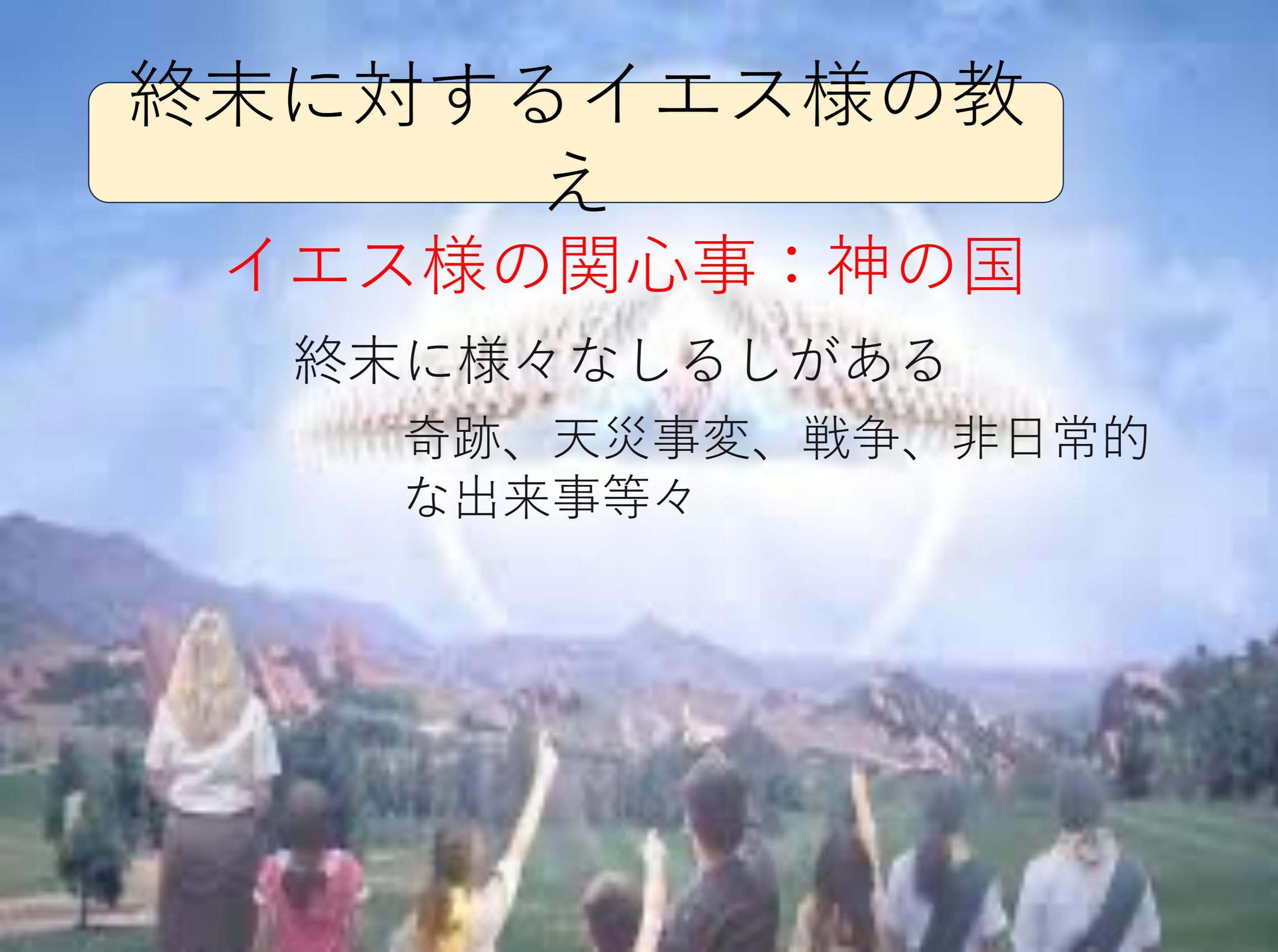
神の国が終末の重要なテーマになる。

終末に対するイエス様の教え

イエス様の関心事：神の国

終末に様々なしるしがある

奇跡、天災事変、戦争、非日常的な出来事等々



終末に対するイエス様の教え

イエス様の関心事：神の国

終末に様々なしるしがある

奇跡、天災事変、戦争、非日常的な出来事等々

まことに、あなたがたに告げます。これらのことが全部起こってしまうまでは、この時代は過ぎ去りません。

マタイ24:34

終末に対するイエス様の教え

イエス様の関心事：神の国

終末に様々なしるしがある

奇跡、天災事変、戦争、非日常的な出来事等々

まことに、あなたがたに告げます。これらのことが全部起こってしまうまでは、この時代は過ぎ去りません。

マタイ24:34

そして、こう言った。「ガリラヤの人たち。なぜ天を見上げて立っているのですか。あなたがたを離れて天に上げられたこのイエスは、天に上って行かれるのをあなたがたが見たときと同じ有様で、またおいでになります。」

使徒1:11

初代教会の終末思想

再臨を準備する信仰共同体

43 そして、一同の心に恐れが生じ、使徒たちによって多くの不思議としるしが行われた。

44 信者となった者たちはみないっしょにいて、いっさいの物を共有にしていた。

45 そして、資産や持ち物を売っては、それぞれの必要に応じて、みなに分配していた。

46 そして毎日、心を一つにして宮に集まり、家でパンを裂き、喜びと真心をもって食事をともにし、

47 神を賛美し、すべての民に好意を持たれた。主も毎日救われる人々を仲間に加えてくださった。 使徒

2:43-47

初代教会の終末思想

パウロの再臨信仰

16 主は、号令と、御使いのかしらの声と、神のラッパの響きのうちに、ご自身天から下って来られます。それからキリストにある死者が、まず初めによみがえり、

17 次に、生き残っている私たちが、たちまち彼らといっしょに雲の中に一挙に引き上げられ、空中で主と会うのです。このようにして、私たちは、いつまでも主とともにいることとなります。

テサロニケ第一 4：16-17

初代教会の終末思想

ヨハネの黙示録

迫害の中で再臨を待望

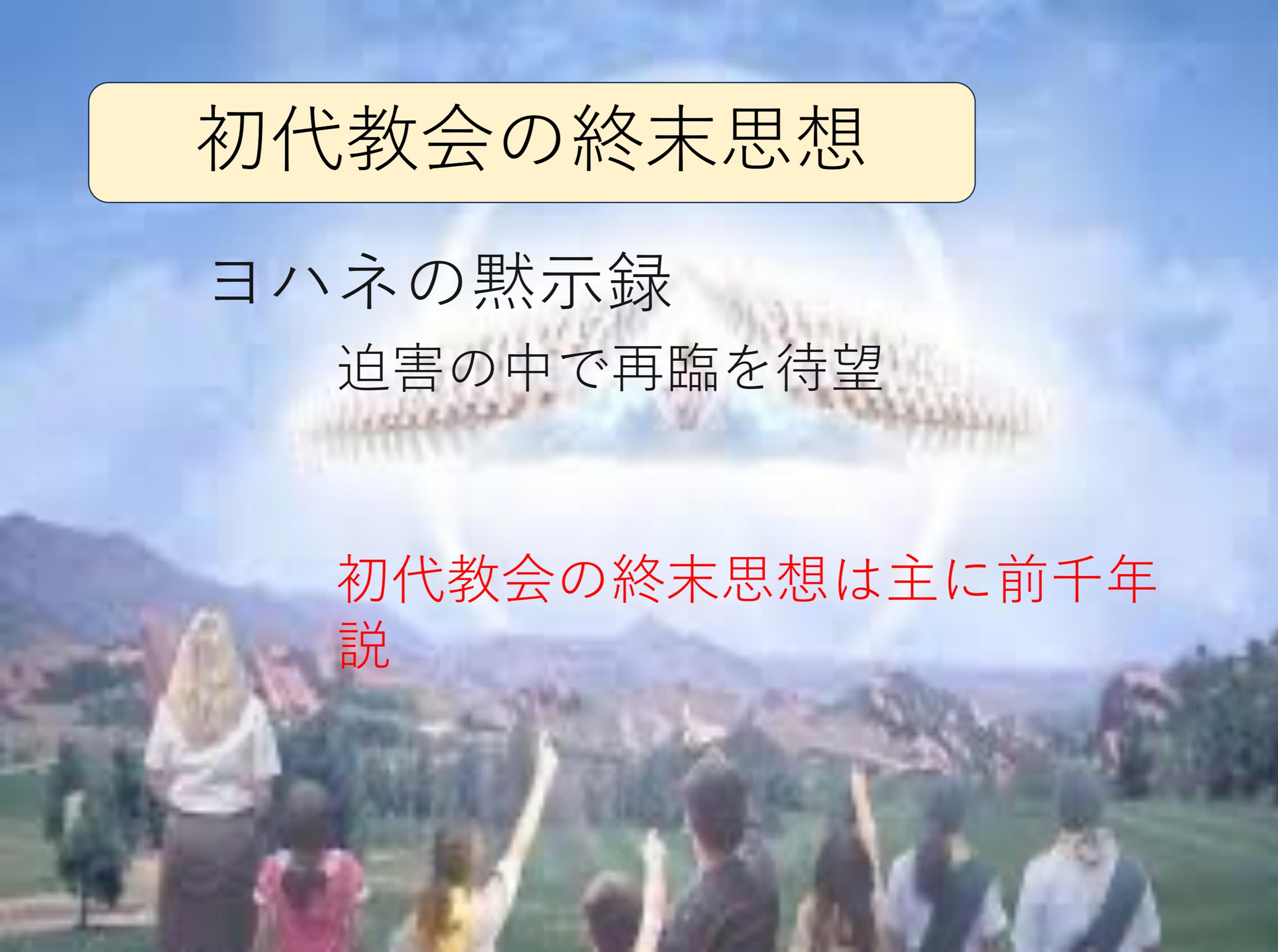


初代教会の終末思想

ヨハネの黙示録

迫害の中で再臨を待望

初代教会の終末思想は主に前千年説



初代教会の再臨信仰の変曲点

イエス様の弟子たちの死



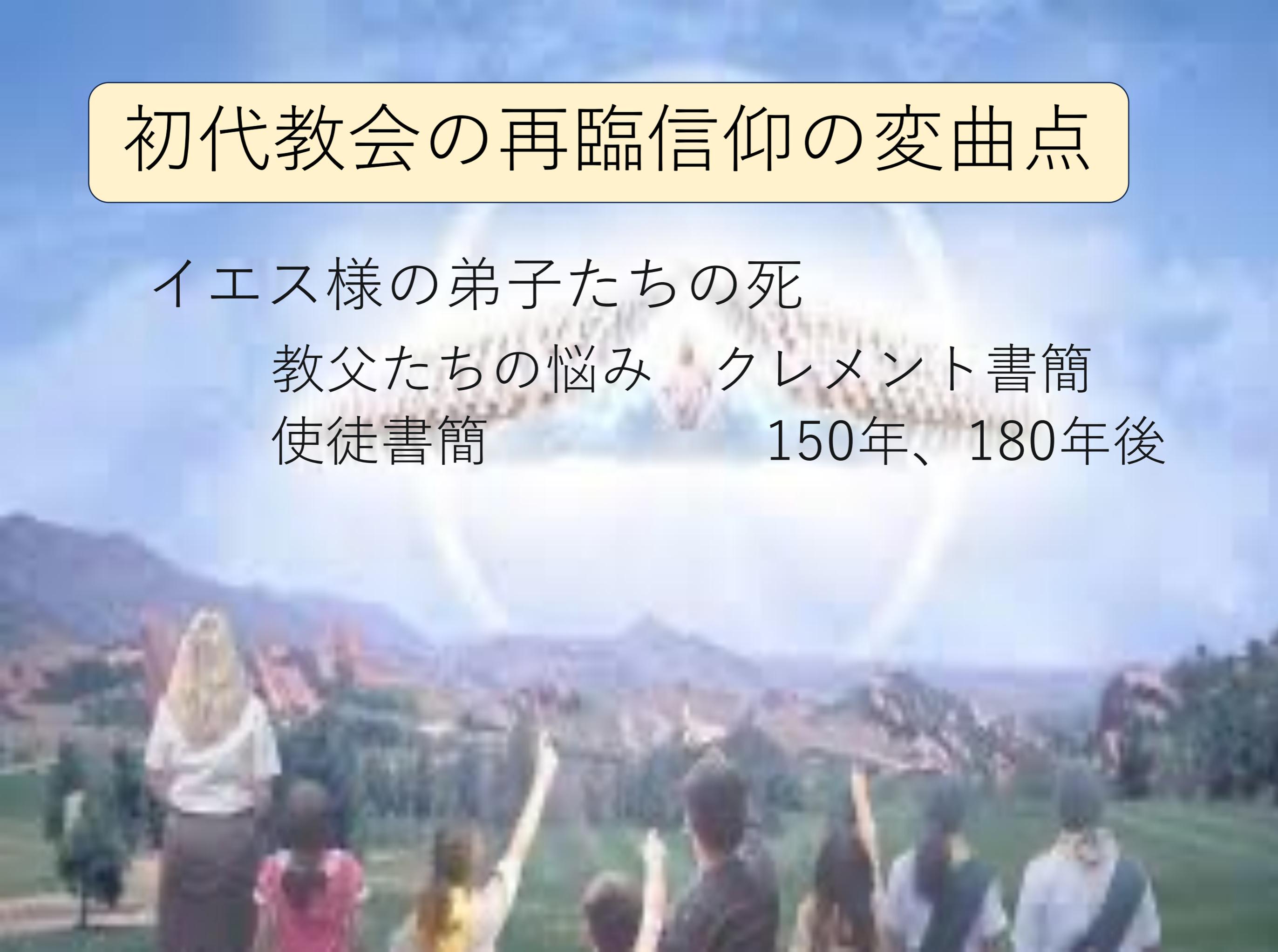
初代教会の再臨信仰の変曲点

イエス様の弟子たちの死

教父たちの悩み クレメント書簡

使徒書簡

150年、180年後



Montanus(?~170) 運動

熱狂的な終末論

トルコのペルザ
天のエルサレムが下ってきて千年王
国



Montanus(?~170) 運動

熱狂的な終末論

トルコのペルザ
天のエルサレムが下ってきて千年王
国

聖霊・預言運動

女預言者たち 殉教、禁欲生活
異端として裁かれる

再臨 女性 預言に対して否定的な視
覚

再臨日計算登場

一日は千年のようであり、
千年は一日のようです。

|| ペテロ 3 : 8

ロマ監督 ヒポリトス

イエス様が来たのは天地創造後5,500
年後
六日間働いて七日目に安息、誕生から500年
後

5500年

● 0年
天地創造

1000年王国

● 5500年
初臨イエ
ス

● 再臨

中世の終末論

中世教会：教会への脅威がない、
教会時代が千年王

神学的には無千年

国

説が主流



中世の終末論

中世教会：教会への脅威がない、
教会時代が千年王

国

神学的には無千年
説が主流 衆の中で奇形的な終末論拡大

病理現象

初代教会の希望から様々な

暴徒化

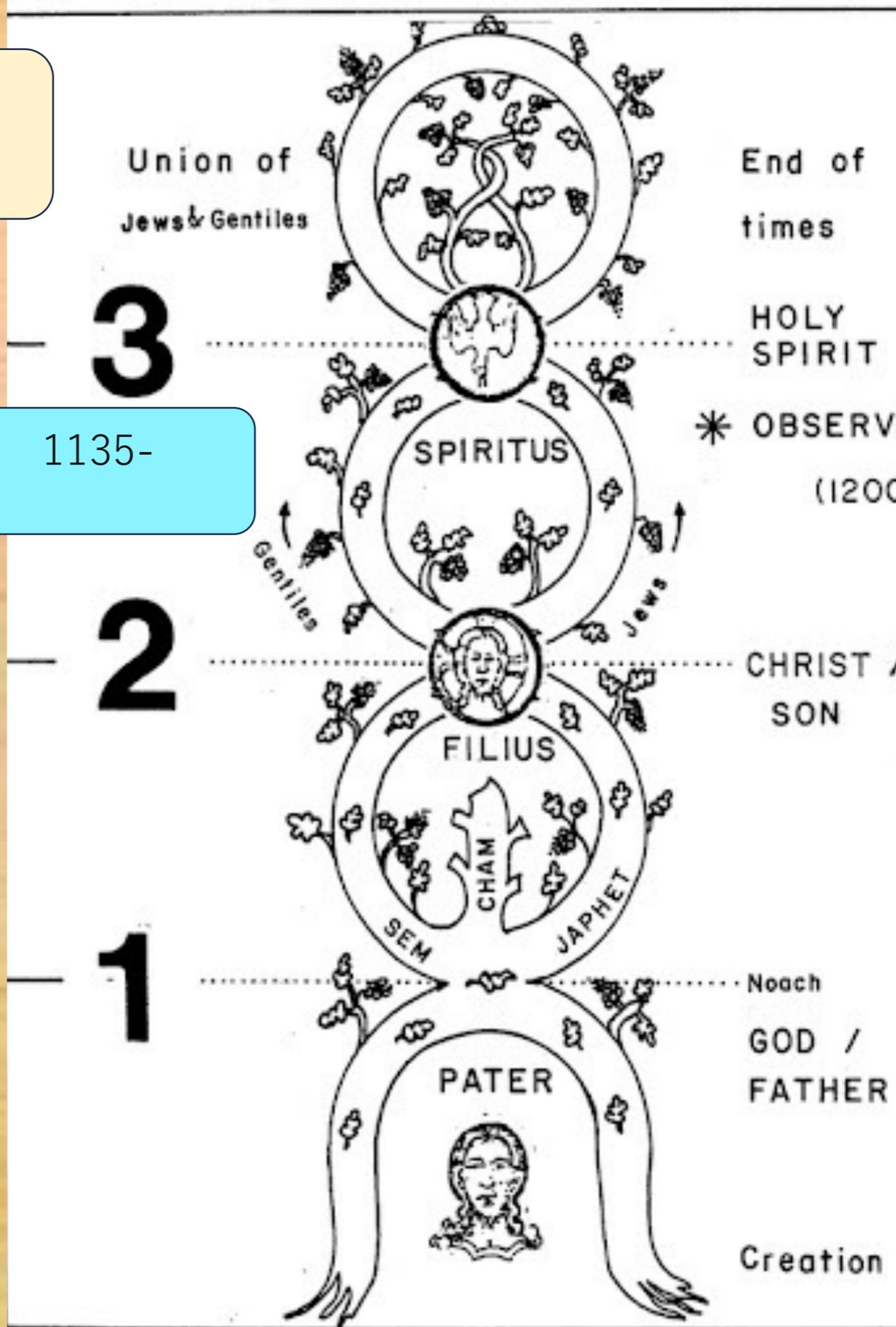
伝染病、自然現象を終末現象と

して解釈

エルサレムで再臨待ち 巡礼

中世の終末論

1) フィオレのヨアキム 1135-1202



中世の終末論

1) フィオレのヨアキム 1135-1202

1135-

三位一体的歴史観

聖霊と平和の時代 1260年

3

1

Union of
Jews & Gentiles

End of
times

HOLY
SPIRIT

* OBSERV
(1200

SPIRITUS

CHRIST
SON

FILIUS

SEM

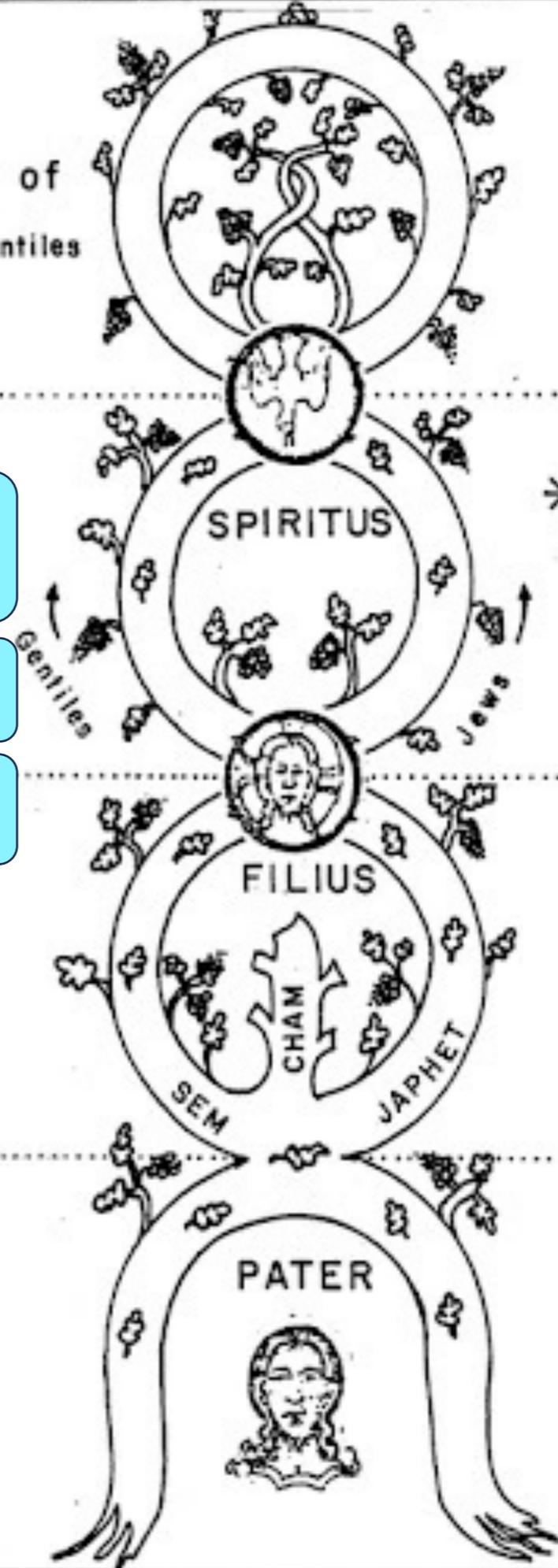
JAPHET

Noah

GOD /
FATHER

PATER

Creation



中世の終末論

1) フィオレのヨアキム 1135-1202

三位一体的歴史観

聖霊と平和の時代 1260年

2) James Ussher 1581-1656

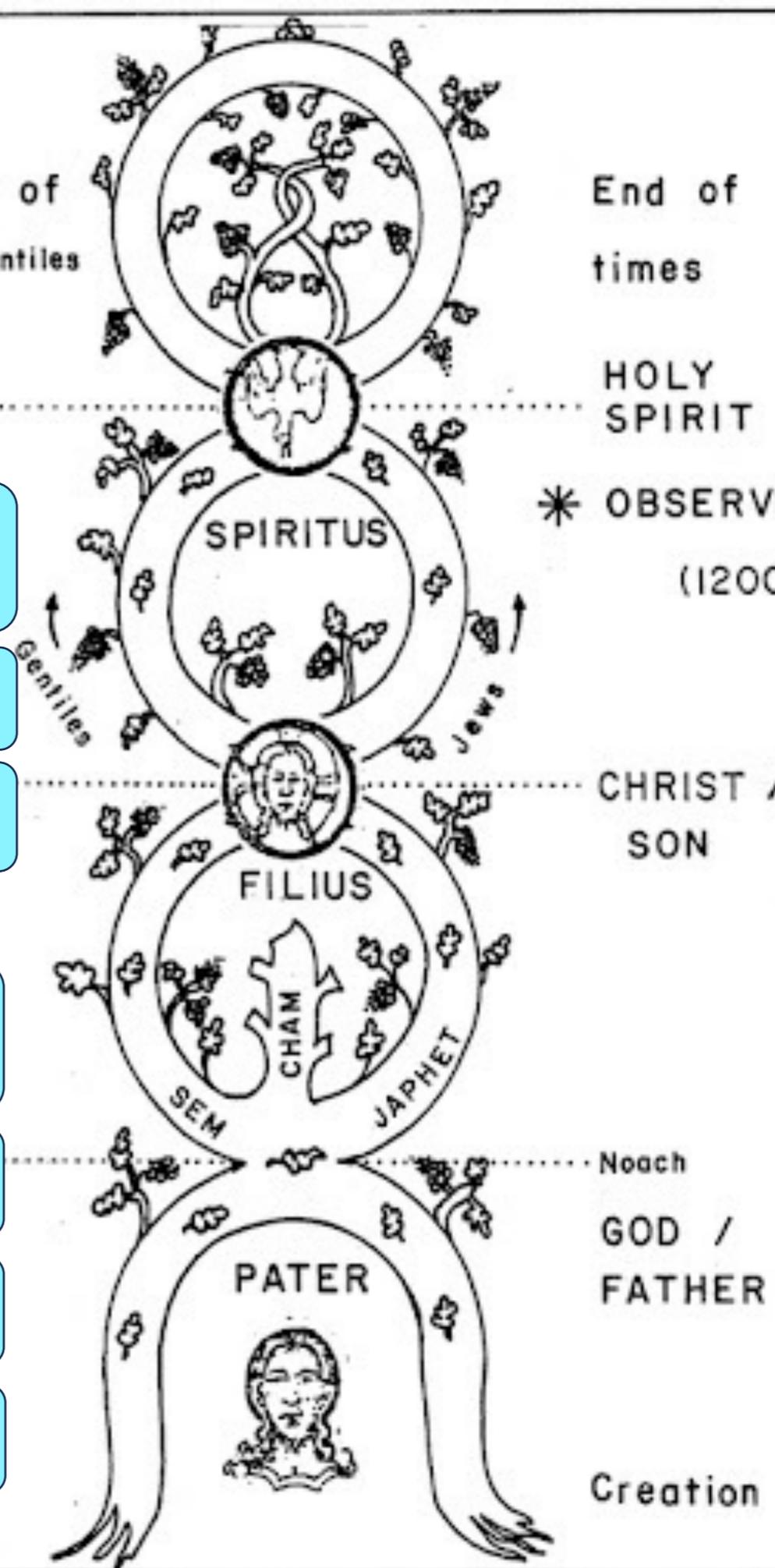
6000年説

BC4004 創造

1996年10月再臨

Union of
Jews & Gentiles

3



宗教改革時代の終末論



墮落した教会

法王：墮落した教会の頭

宗教改革：終末思想と密接



John Calvin



Martin Luther

宗教改革時代の終末論



Martin Luther



John Calvin

千年王国

カトリック教会の墮落した
教壇ヤ人か作り上げた話

宗教改革時代の終末論



Martin Luther



John Calvin

~~千年王国~~

カトリック教会の墮落した
教壇ヤ人か作り上げた話

宗教改革時代の終末論

主流宗教改革



Martin Luther

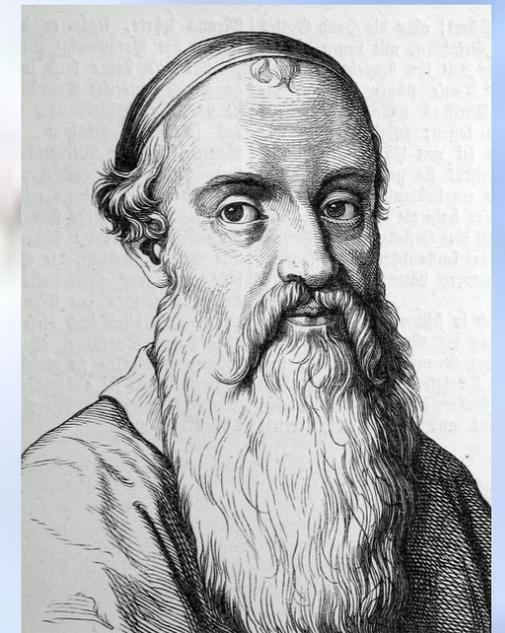


John Calvin

VS



Thomas Müntzer 農民運動



Menno Simons 再洗礼派

~~千年王国~~

千年王国

宗教改革時代の終末論

再洗礼派

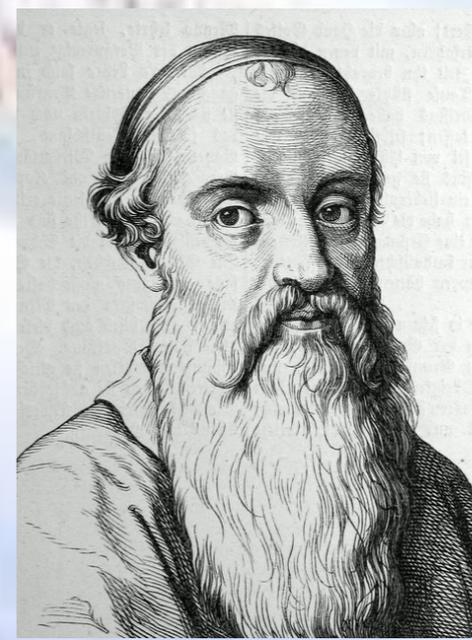
急進派



Thomas
Muentzer 農民運動

千年王国

穏健派



Menno
Simons メノナイ

~~千年王国~~

17C 英国の終末論

第五王国派

清教徒革命時代

ダニエル書

イエス様の再臨と第五王国

WORLD HISTORY
FORETOLD

Nebuchadnezzar's Dream
Daniel 2:31-45

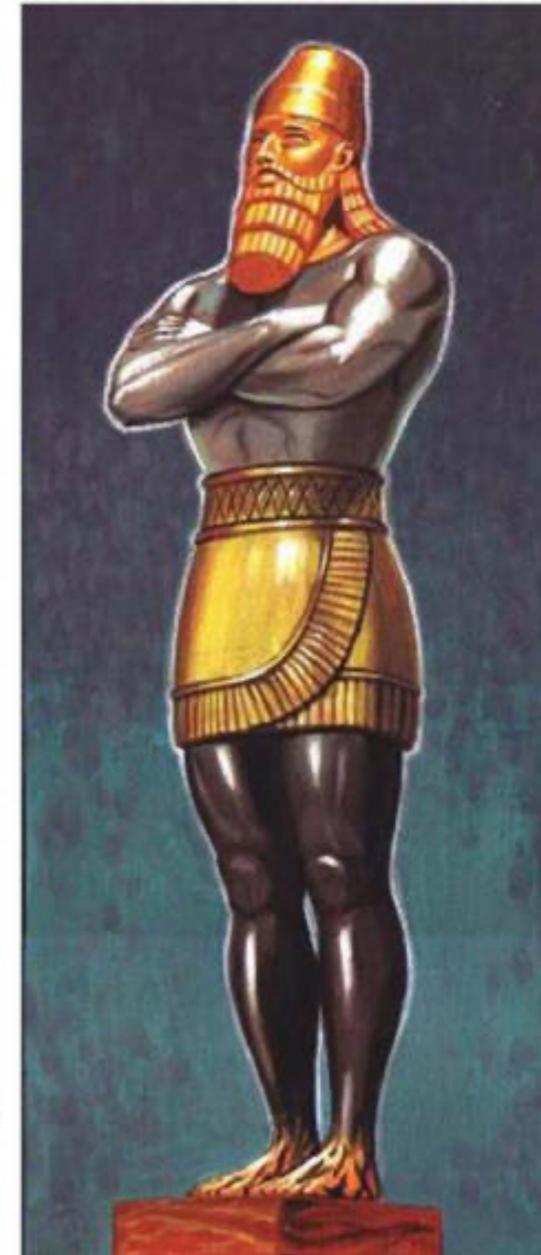
Head of Gold
BABYLON
B.C. 605-539

Breast of Silver
PERSIA
B.C. 539-331

Thighs of Brass
GREECE
B.C. 331-168

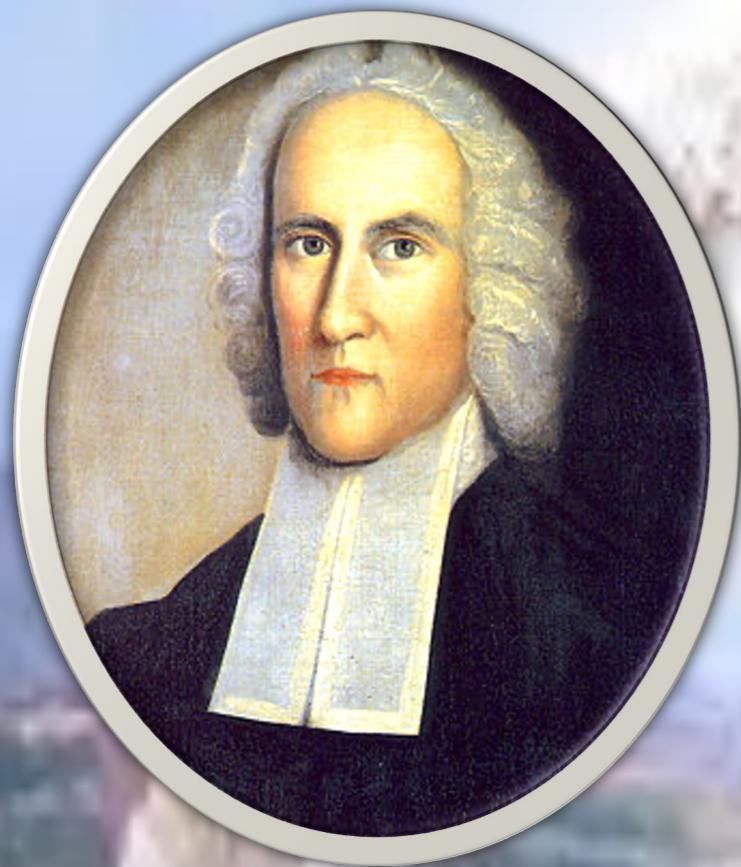
Legs of Iron
ROME
B.C. 168- A.D. 476

Feet of Iron and Clay
REVIVED ROMAN
EMPIRE
A.D. 476 - 2nd Advent
The European Union



18C 米国の終末論

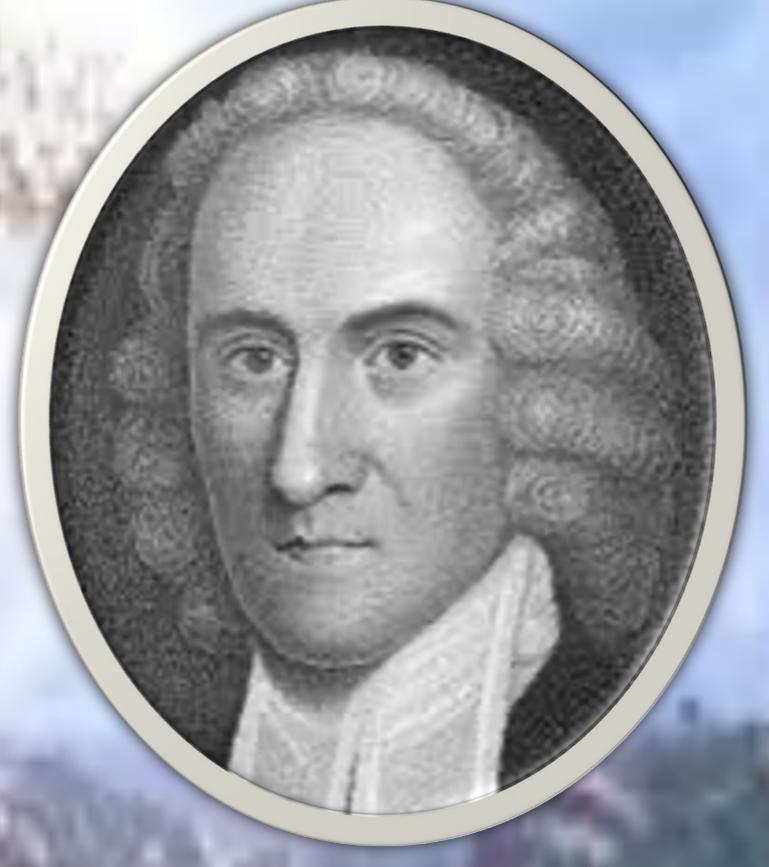
第一次大覚醒運動



Jonathan Edwards,
(1703-58)



George Whitefield,
(1714-70)



Gilbert Tennent
(1703-1764)

18C 米国の終末論

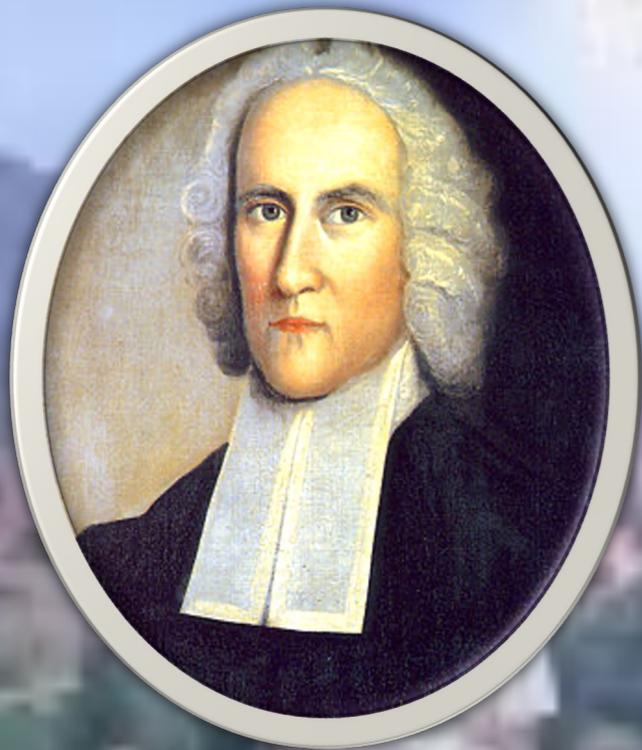
神様から始まった新世界の墮落

Jeremiad、嘆きの説教

裁きの代わりに聖霊による大覚醒

キリスト教の拡張

神の国の到来：その中心はアメリカ



Jonathan Edwards,
(1703-58)

18C 米国の終末論

聖霊による一次大覚醒運動の結果

後千年説台頭

楽観的な歴史観：

聖霊様の働きにより、この世が良くなり、

御国が拡大し、
やがては神の御国が臨む

18C 米国の終末論

アメリカの独立 1774

アメリカの領土拡大、繁栄



19C 米国の終末論

アメリカの独立 1774

アメリカの領土拡大、繁栄

第二次大覚醒運動

後千年説活性化：

良くなったこの世の絶頂

(千年王国) にイエス様が再



Charles G. Finney, 1792-1875

19C 米国の終末論

教会が聖霊様と共に千年王国建設に邁進年王国を完成し、イエス様を迎えよう

終末信仰に立ち、社会不条理一掃に尽
社会問題の改革が教会の使命

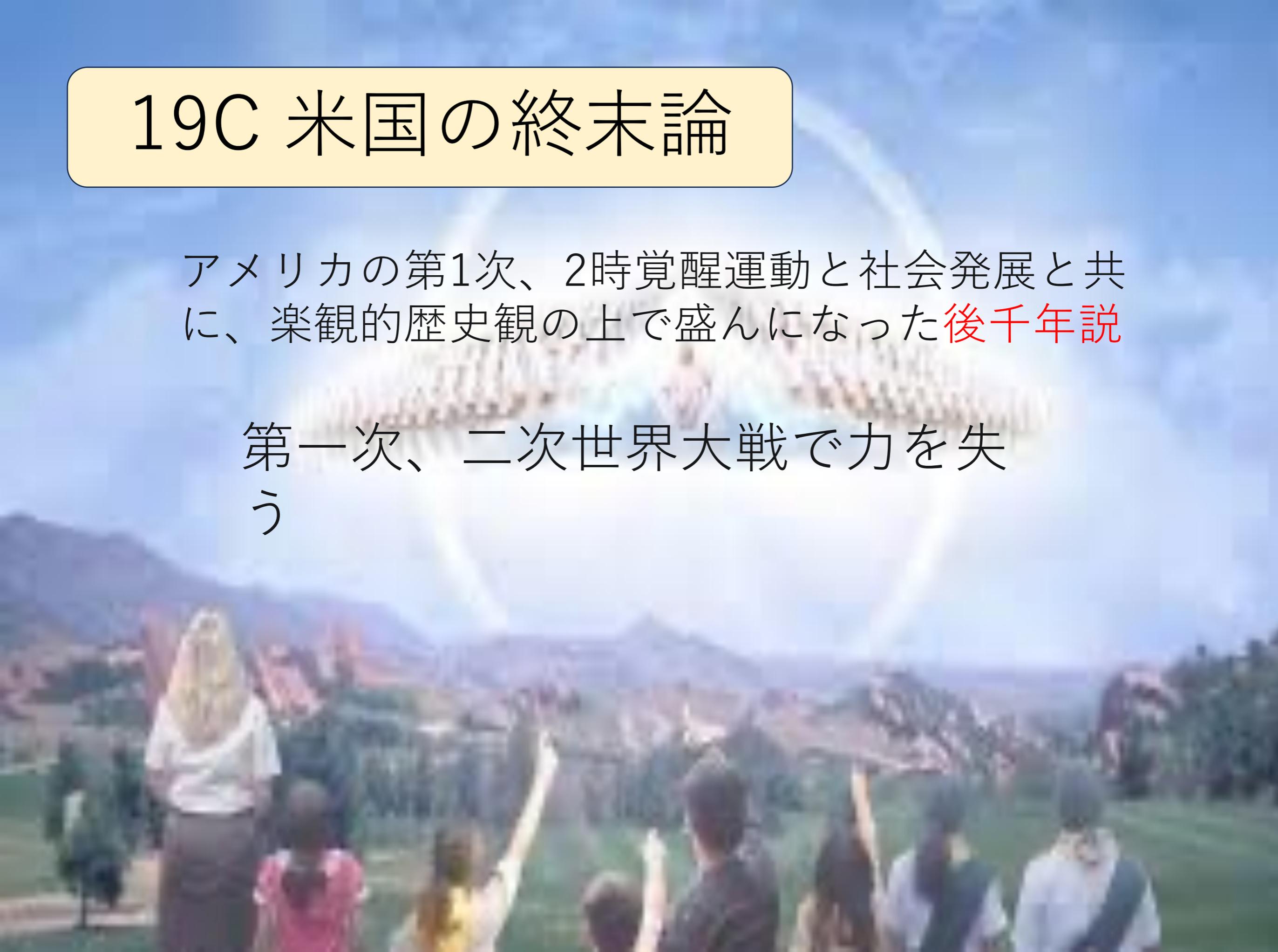
1. 奴隷制度
2. 黒人差別
3. 貧困問題
4. 女性差別 等々

福音伝道の活性化、聖書普及率向上など

19C 米国の終末論

アメリカの第1次、2時覚醒運動と社会発展と共に、楽観的歴史観の上で盛んになった後千年説

第一次、二次世界大戦で力を失う



19C 米国の終末論

世代主義終末論

(ディスペンセーション主義、Dispensationalism)

John Nelson Darby

英国聖書学者

Plymouth Brethren Assembly



John Nelson Darby
(1800-1882)

19C 米国の終末論

世代主義(ディスペンセーション主義

義, Dispensationalism)において7つの時代で区分し、時代別には歴史を導くことにおいて7つの時代で区分し、時代別に統治する方法を変えておられる

1. 無垢の時代：創造からエデンの園追放
2. 良心の時代：洪水の前まで
3. 人間による統治の時代：洪水からバベルの塔の事件
4. 約束の時代：アブラハムの召しから律法授与まで
5. 律法の時代：モーセの律法からペンテコステ
6. 恵みの時代：キリストの死から携挙まで
7. 王国の時代：キリストの再臨から千年王国

19C 米国の終末論

世代主義(ディスペンセーション主義 Dispensationalism)

教会論

教権・教派主義で墮落

終末論

世代主義前千年説
ヨハネ黙示録20章

艱難前携挙

7年大患難

地上再臨後千年王国

19C 米国の終末論

世代主義終末論
(ディスペンセーション主義)



John Nelson Darby
(1800-1882)



D. L. Moody,
1837-1899



A. J. Gordon,
1836-1895



A. T. Pierson
1837-1911

福音主義

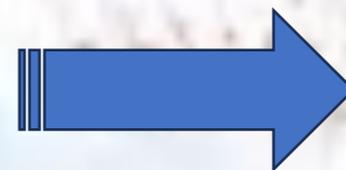
19C 米国の終末論

福音主義

世代主義
前千年説

+

終末運動
宣教運動
聖霊運動



根本主義神学



19C 米国の終末論

アメリカ、アメリカ宣教師たちが働いた
ところ →

世代主義前千年説が
広がる 主の再臨が近い
この世は増々悪くなる
改革努力は無意味である
再臨の前に一人でも多くのたましいを救うべし

全世界への宣教運動爆
発

20C 終末論の全盛期

映画：

終末論セミナー

ヨハネ黙示録セミナー

終末論の流行：

戦争・自然災害・経済危機など社会不安の時

終末（論）現象への評価

① 終末論のないキリスト教は存在できない

ない

○ 聖書が教える終末論

イエス様の終末宣言：

神の国が近づいた。悔改めなさい

イエス様、初代教会の弟子たち

終末、終末信仰に対して教える。

○ 初代教会の終末の教え・終末信仰

他宗教、他文化と区別できる生き方の動力

○ 新約聖書を貫通する重要なテーマの一つが終末論

すべての教団、教派の憲法、教理には終末論

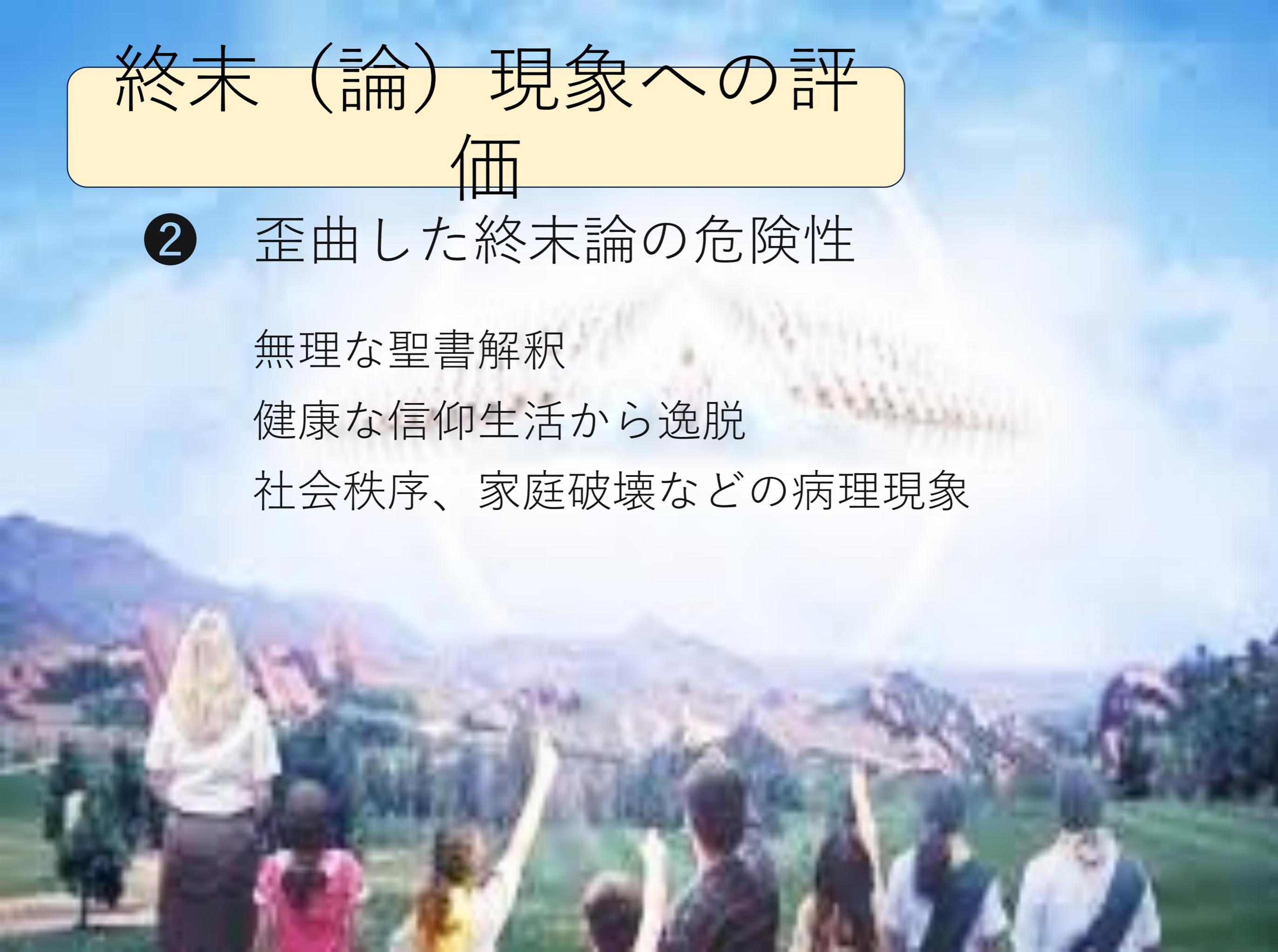
終末（論）現象への評価

② 歪曲した終末論の危険性

無理な聖書解釈

健康な信仰生活から逸脱

社会秩序、家庭破壊などの病理現象



終末（論）現象への評 価

③ 健康な終末論の確立、実践が必要

キリスト教歴史：

終末論による問題も多かったが、
終末論の故にもっと健全で、信頼でき

る

健康な終末論は
私たちの生活を破壊することではなく、
人間の限界を明確に認識し、
渡来する神の国を夢見ながら
現在の危機、限界を克服し、
世の光として生きる根本的な原動力になる。

教会、クリスチャンとして生きるよう

健全な終末論のチェックポイント

- ① 未来に対して希望と期待を持たせる



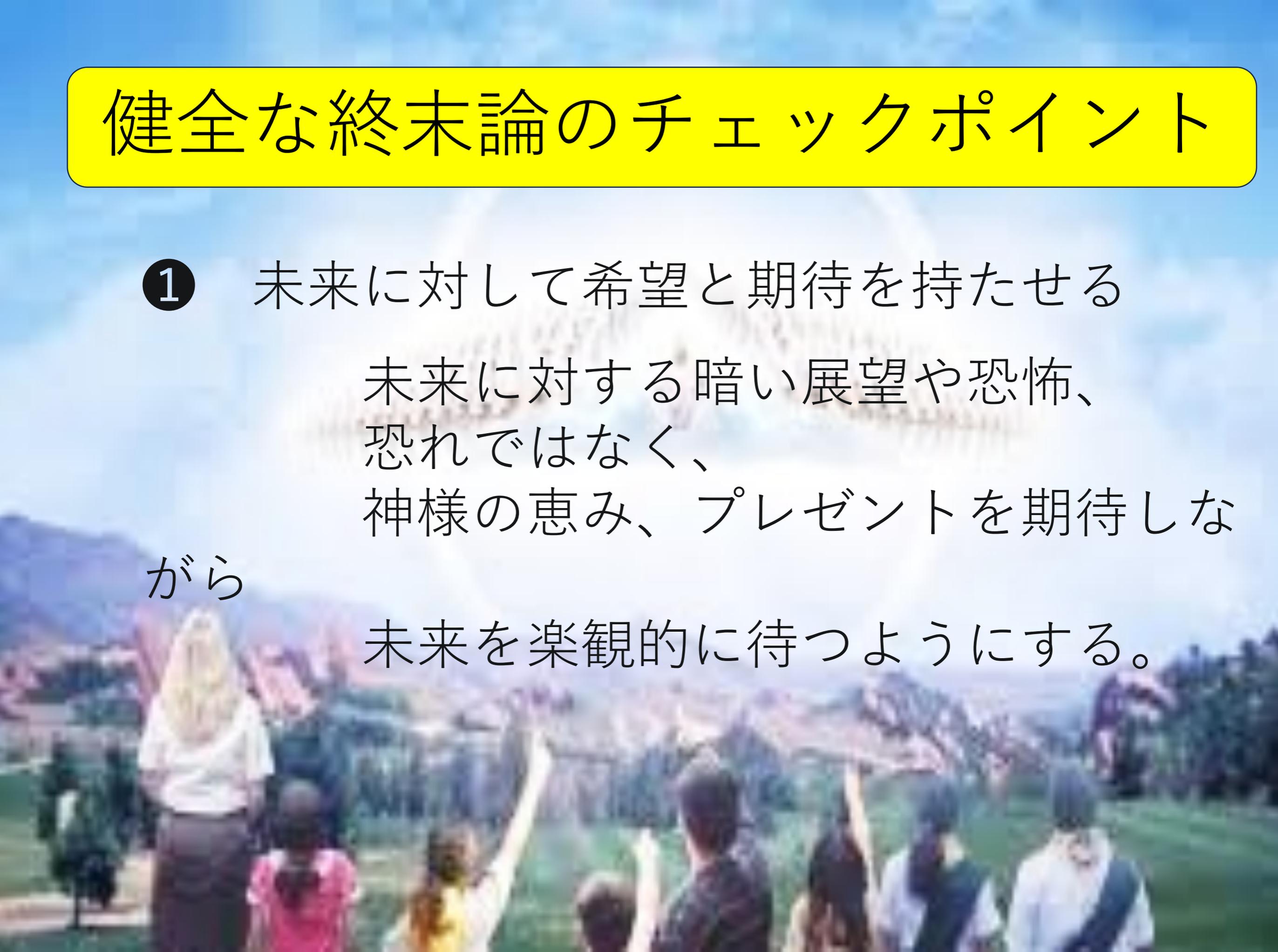
健全な終末論のチェックポイント

① 未来に対して希望と期待を持たせる

未来に対する暗い展望や恐怖、
恐れではなく、
神様の恵み、プレゼントを期待しな

がら

未来を楽観的に待つようにする。



健全な終末論のチェックポイント

- ① 未来に対して希望と期待を持たせる
- ② 今日を責任をもって真実に生きる力を提供



健全な終末論のチェックポイント

- ① 未来に対して希望と期待を持たせる
- ② 今日を責任をもって真実に生きる力を提供
- ③ 人間の限界を認識し、謙遜にする



健全な終末論のチェックポイント

- ① 未来に対して希望と期待を持たせる
- ② 今日を責任をもって真実に生きる力を提供
- ③ 人間の限界を認識し、謙遜にする

人間を楽観的で責任を持つ存在として、謙遜な者として生きるように導く。

健全な終末論のチェックポイント

○ 健全な肯定的な終末論

人間を楽観的で責任を持つ存在として、謙遜な者、成熟した者として生きるように導く。



健全な終末論のチェックポイント

○ 健全な肯定的な終末論

人間を楽観的で責任を持つ存在として、謙遜な者、成熟した者として生きるように導く。

○ 不健全で否定的な終末論

否定的な世界観を作り、未来に対して暗いイメージ、恐怖、恐れを持たせる。
人を無責任な者に作り上げ、人生を放棄するか、精神的、肉体的に病に導く。

終末をどう生きるべきか

- ① 終末に対する正しい理解
昇天の時イエス様がなされたこと
- ② 信仰生活の絶頂であり完成